

師を偲び感謝を込めて 第6回藤間流藤乃会舞踊公演



▲約20曲を披露した出演者

11月22日、新庄市民プラザで藤間流藤乃会舞踊公演が開催されました。藤乃会のほか、新庄べにばな歌謡サークル、真室川音頭保存会が出演し、来場者約300人は会員の日頃の稽古の成果に見入っていました。公演の最後には、藤乃会代表の栗田満さん(杉沢)が「安宅の松風」を踊り、「会創立35周年と師・藤間松悦先生の三回忌追善を兼ねて開催しました。藤乃会を支えてくれた皆さまに感謝しています」と想いを述べました。

「食」で支える県民の健康 押切幸子会長に知事感謝状



▲押切幸子会長（前列右）

11月17日、山形県庁で「山形県健康づくり・栄養改善関係功労者知事感謝状贈呈式」が開催され、食生活改善推進協議会の押切幸子会長が、栄養・食生活改善事業功労者部門で知事感謝状を受賞しました。式では、長年にわたり県民の健康増進にご尽力されたことに対し、知事から感謝の言葉が述べられました。今後も、町民の健康づくりにおいて、さらなるご活躍を期待しています。

学びの場をより快適に 最北塗装組合のボランティア塗装



▲8名の最北塗装組合員が塗装を行っていただきました

11月15日、最北塗装組合の皆さんが、金山中学校の校舎内の壁をボランティアで塗装していただきました。当日は、組合員の方々が丁寧に作業を進めてくださり、校舎内が明るく清潔な雰囲気になりました。事務局の長倉友美さん(荒屋)は「子どもたちが気持ちよく学校生活を送れるようになれば嬉しいです」と話していました。子どもたちの学びの場を思う、温かなご支援とご厚意に心より感謝いたします。

肉質検定で歴代トップ級成績 「七福久」号が県産種雄牛としてデビュー



▲最高ランクの脂肪質と霜降り「七福久」号

11月7日、今村彦也さん(魚清水)が生産した肉牛「七福久」号が新たな県産種雄牛としてデビューしました。令和6年9月にデビューした加藤優志さん(谷口)生産の「丸藤3」号に続く快挙となります。「七福久」号の子牛を調べた検定の結果、霜降り度合いを示す数値は歴代トップと並び10.1という非常に優秀な成績を出し、脂肪の質(MUFA)も最高ランクの「H」と評価されており、畜産関係者から期待が寄せられています。

まちおこし塾 全8回を開催 受講者が町に事業を提案



▲まちおこし塾を受講した町民10名と講師

10月3日から8回にわたり「金山町まちおこし塾」を開催し、20代から80代までの町民が参加しました。塾では、日本技術士会「なりわい支援ワーキンググループ」の3名を講師に迎え、町の資源を掘り起こし、課題を分析しました。11月22日には、受講者が町に事業提案を行い、正野悦雄さん(上台)は「多くの学びと発見があった。観光でさらに町を盛り上げていきたい」と、観光事業や関係人口の創出に向けた提案を行いました。

新庄市・戸沢村・金山町 ふるさと納税における連携協定を締結



▲左から山科朝則市長、加藤文明村長、佐藤英司町長

11月21日、最上広域交流センターゆめりあで、ふるさと納税の共通返礼品に関する自治体間連携協定を新たに戸沢村と締結しました。令和5年12月に締結した新庄市に加え、戸沢村のふるさと納税返礼品の一部を共通の返礼品として提供できるようになり、最上地域における連携の輪がさらに広がりました。今後も、共通返礼品を通して最上地域のさらなる魅力発信に取り組んでいきます。

スポ少指導に長年尽力 高橋章さんへ功労者表彰



▲県スポーツ少年団功労者表彰を受賞された高橋章さん

11月15日、鶴岡市の東京第一ホテル鶴岡で行われた山形県スポーツ少年団表彰式で、高橋章さん(三枝)が山形県スポーツ少年団功労者表彰を受賞しました。高橋さんは長年にわたり金山スポーツ少年団の指導者として子どもたちの育成に尽力し、認定指導員として指導者の養成にも継続して貢献されてきました。これらの功績が高く評価され、今回の受賞となりました。誠にありがとうございます。

「聞きたくても聞けない」を支える 移動型スマホ教室を開催



▲個別相談が可能な「スマホなんでもサポート号」

11月10日から21日まで、やくし苑駐車場で専用車両「スマホなんでもサポート号」を使ったスマホ教室が開催されました。スマホ教室では、LINEアプリの使い方や安心・安全にインターネットを使う方法などを丁寧に説明し、終了後には実際にLINEアプリへ登録した方もいました。参加者からは、「子どもに聞くと怒られるので助かる」「PayPay(電子マネー)を使えるようになった」「次回開催を期待している」といった声が寄せられました。

お米500kgを困っている方へ 青柳栄一さんから町へ寄付



▲青柳栄一さん(左)、武内俊雄事務局長(右)

12月18日、町社会福祉協議会に対し、農事組合法人いずえむの青柳栄一さん(檜台)からお米500kgが寄付されました。青柳さんの「困っている方の力になりたい」という思いから寄付いただいたお米は、町内の一人暮らし世帯で生活にお困りの方などを対象に配布されます。町社会福祉協議会 事務局長の武内俊雄さんは「新年を前に新米をご寄贈いただき大変ありがたいです。生活に困っている方などに配ります」と感謝の言葉を述べました。

J2リーグ戦終了 モンテディオ山形の選手が表敬訪問



▲城和隼颯選手(中央左)、野嶽寛也手(中央右)

12月2日、町中央公民館に2025明治安田J2リーグで10位となったモンテディオ山形の城和隼颯選手(千葉県出身)と野嶽寛也選手(鹿児島県出身)が表敬訪問のため来庁しました。城和選手と野嶽選手は、それぞれシーズン中の活躍や来シーズンの目標を力強く語ってくださいました。また、サイン入りの色紙とともに特製の旗や記念品を町へ贈呈していただきました。来シーズンの活躍も期待しています。

柳原・入有屋・下向地区の防災力を高める 防災研修会を開催



▲研修会には役員12名が参加

11月30日、柳原公民館で神室自主防災組織役員を対象に防災研修会が開催されました。この研修会は組織の理念などを学ぶため、防災士の矢口一寿さんを講師に招き神室自主防災連絡協議会が主催したものです。研修を通して災害時の基礎知識や役割分担を学び、参加者はメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。区長の三上重幸さん(柳原)は「来年度から住民と一緒に訓練などを通し、実践的に組織が機能するようにしていきたい」と想いを語りました。

羽場地区公民館に笑顔の輪 つきたて餅と大根汁で交流深める



▲餅つき交流会には地区住民45名が参加

11月23日、羽場地区公民館で毎年恒例の餅つき交流会が開催されました。当日は、お父さんたちが威勢のよい掛け声とともに石臼と杵で餅をつき、お母さんたちが雑煮、あんこ、納豆、きな粉、くるみの5種類の餅と大根汁を用意しました。つきたての餅やあたたかい大根汁を囲み、子どもたちと地区住民が会話を弾ませながらおいしそうに味わう様子が見られ、温かいひとときとなりました。

生産者と子どもたちをつなぐ 金山産つや姫献立



▲児童につや姫などの説明を行う青柳栄一さん

12月19日、金山小学校と金山中学校で「金山産つや姫献立」がふるまわれ、食育の日にちなみ金山産つや姫ごはん^{あおやぎ}と鮭の黄金焼き、干草あえ、肉じゃがなどが提供されました。金山産つや姫は農事組合法人いずえむの青柳栄一さん(檜台)が無償で提供したもので、児童と一緒に給食を楽しんだ青柳さんは「物価高の中でも美味しいお米を子どもたちに味わってもらいたかった。農業に興味を持つきっかけになればいい」と想いを語りました。

神室スキー場安全祈願祭開催 今シーズンの無事故と賑わいを祈願



▲神室スキー場は十分な積雪がありしだいオープン予定

12月9日、指定管理者(株)ライズ主催で神室スキー場安全祈願祭が行われました。安全祈願祭では、桜本仁志宮司(七日町)のお祓いのもと、関係者や地元住民が参列し、今シーズンの無事故と多くの来場者を願って祈願が行われました。鷲尾晋代表取締役から、新たな取り組みをはじめ、多くの来場者に安全に楽しんでもらえるよう意気込みが語られました。

金山町の冬の安全を守る 除雪作業員20名が安全を祈願



▲今年度の除雪作業員20名と佐藤英司町長(前列中央)

12月1日、町除雪ステーションで町道除雪作業班の安全祈願祭を開催し、班員20名と町関係者がシーズン中の作業の安全を祈願しました。中村純平班長(三枝)が「除雪作業の重要性を十分認識し、安全で安心な道路環境を確保するため、一致団結して作業に努めます。また、事故の無い除雪作業を行うため万全の体制で臨みます」と意気込みを語り、除雪作業員一同で気持ちを引き締め、無事故での作業完遂を誓いました。

自立する地域をめざして 地区担い手づくり研修会を開催



▲地区担い手づくり研修会の参加者の皆さん

11月27日、「地区担い手づくり研修会」を開催し、6地区から8人が川西町吉島地区を訪れました。11月3日の町公民館大会で講師を務めた高橋さんから、連携した地域運営の手法を学び、「20から30代のうちから地域運営に参画してもらうことで後継者を育てている」「地域で稼ぐ仕組みが重要」「役場に依存しない運営を目指す」といった取組に参加者は共感し、さっそく地区で情報を共有したい」との感想を話していました。